

経 営
**新日鉄と
 JFESチール(株)が
 半製品を相互供給**

新日鉄とJFESチール(株)は、高炉改修工事などによる鉄源能力変化への対応、短期的な需給環境変化への対応などの観点から、両社の鉄源能力の有効活用を目的とした半製品の相互供給について、都度、具体的条件につき協議を行っていくことで合意した。

両社は今後も必要に応じた半製品の相互供給などを通じて、お客様に対するより一層の安定供給に努めていく。

総務部広報センター
 ▲03-6867-2135

経 営
**新日鉄と日本電工(株)
 が戦略的提携に合意**

新日鉄と日本電工(株)はこれまでマンガン系合金鉄などの取引を通じ緊密な取引関係を構築してきたが、このほど双方の競争力強化と企業価値向上のために、提携施策を一層強化していくことで合意した。また、新日鉄は本提携を円滑かつ確実に実行していくために日本電工の株式を15%まで買い増すこととした。

総務部広報センター
 ▲03-6867-2135

経 営
**マレーシアにおける
 鋼板製造事業会社への
 出資**

新日鉄はマレーシアの有力ローレルメーカーであるYung Kong Galvanising Industries Berhad (YKGI) が新たに発行する優先株(転換権付)を、2010年6月をめどに引き受けることで合意した。

本出資によって、同社とのさらなる信頼関係の強化、熱延鋼板の安定供給による取引関係の拡大を通じ、引き続き成長が見込まれる同国薄板需要の安定的捕捉を図っていく。

総務部広報センター
 ▲03-6867-2135



YKGIの工場 (マレーシア・Klang)

技 術

ニッテツスーパーフレーム®工法が教会に採用

新日鉄が展開する建築住宅工法「ニッテツスーパーフレーム®工法 (NSF工法)」が初めて、教会の建設に採用された。NSF工法が採用されたのは名古屋市の平針キリスト教会。既存の建物が老朽化し建て直すにあたり、短工期・耐久性・経済合理性などNSF工法の利点が総合的に評価された。戸建住宅から始まったNSF工法は、賃貸マンションや寮・社宅、老人健康施設などをはじめ、多様な建築物に採用されている。



愛知県名古屋市の平針キリスト教会。2階建 (延床 328 m²)、設計施工はアイシン開発 (株)

住宅建材開発グループ
 ▲03-6867-5625
 ☒ jnhaku@nsc.co.jp

www.nsc.co.jp

新日本製鉄発行のプレスリリースは、ホームページに全文が掲載されていますので参照ください。

製品

橋の架け替えに新金属材料「角太橋」採用増加

新日鉄が開発した角形鋼管を用いた新形式メタル床版橋「角太橋」が、更新橋梁に求められる軽い、薄い、短工期などの特長を活かして採用実績を伸ばしている。2009年度には33橋（鋼材重量約

800トン）で採用され、05年度の本格販売以来、全国37都道府県で累計受注100橋（同約2700トン）を達成した。

総務部広報センター
▲03-6867-2135
建材開発技術部
▲03-6867-6866



猿田川端橋での角太橋施工状況（秋田県秋田市）

製品

高耐食性鋼管「マリロイ®鋼管」が船舶のバラスト管に本格採用

新日鉄の高耐食性鋼管「マリロイ®鋼管」が、(株)アイ・エイチ・アイマリンユナイテッド建造船での15年間の適用評価を踏まえ、同社建造船のバラスト管に本格的に採用されることとなった。

同製品は船舶に無塗装で使用する事によって、建造時の塗装工程の省略、建造工期



15年経過後（さび層ショット後）全面腐食になっており、クレーターはあるものの、局部的に深い腐食は見られない

の短縮、航海後の補修塗装などのランニングコストの大幅

削減を実現する。

総務部広報センター
▲03-6867-2135



マリロイ鋼管外観

広報

スターフライヤー機内テレビで八幡製鉄所を紹介

4月1日より、スターフライヤー北九州線の機内テレビで日本の産業遺産が紹介され、その第一弾で新日鉄八幡製鉄所が取り上げられる（4月30日まで）。また、これに合わせて北九州で製造されている商品をPRするため、機内でスチール缶飲料を無償配布する。

◆発泡酒 北九州出発便の一部で機内サービスメニューに追加
◆コーヒー・お茶 東京発93便（23時15分発）でお客様の降機時に提供

総務部広報センター
▲03-6867-2146



スターフライヤー機



機内テレビで放映される「日本の命運を担った鉄の都」より

紀尾井ホール

(財)新日鉄文化財団

5月公演から

カルテット・エクセルシオ
～フランスの薫り



カルテット・エクセルシオは2008年新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞を受賞した実力派。弦楽四重奏に音楽家人生をかける彼らが今回取り上げるのは、近現代フランスを代表する3人の作曲家ドビュッシー、ラヴェル、デュティユーの名曲。新緑芽吹く5月にフランスの薫り高い音楽の世界をお楽しみください。

スケジュール

8日/15:00

カルテット・エクセルシオ
～フランスの薫り

14日/19:00、15日/14:00

紀尾井シンフォニエッタ東京
第74回定期演奏会

(指揮：ライナー・ホーネック)
ホーネックが運ぶウィーンの間
～薫り高い古典美～
ハイドン、モーツァルトと
シューベルトの「グレイト」

ヴィオラスペース2010 vol.19

独奏、室内楽、オーケストラとの
共演で聴くヴィオラの魅力

26日/18:30

<第一夜> 謳うヴィオラ
シューベルト：「冬の旅～ヴィオラとピアノ
のための」より

バッハ：シャコンヌ(ヴィオラ版) ほか

27日/18:30

<第二夜> 踊るヴィオラ
ブラームス：ヴィオラソナタ 第2番
エーレンフェルナー：ヴァイオリンと
ヴィオラのための協奏曲より第一楽章 ほか

お問い合わせ・チケットのお申し込み先
紀尾井ホールチケットセンター（日・祝休）

TEL 03-3237-0061

<http://www.kioi-hall.or.jp>